



練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

平成28年度 第11号 平成29年3月15日発行

出会いと別れ

校長 古山真樹

人の世、人生とは出会いと別れの連続と行っていいでしょう。たくさんの人と出会って、たくさんのお世話になって生きていくわけですが、一生にどれほどの人と出会えるのでしょうか。世界中の人たちと友達になりたいと思ってもそれは困難です。それどころか東京の人口を考えても、ほんの一握りの人としか出会えませんが、だからこそ私たちは出会えた人たちを大切に、今の出会いを大切に生きていかなければなりません。

「一期一会^{いちごいちえ}」という言葉があります。これは茶道に由来する言葉です。お茶会に臨む際には、この機会は二度とやっこない、一生に一度の出会いであると心得て、主人、客共に誠意を尽くしておもてなしをすることを言います。これは当然、お茶の世界だけのことではありません。この世の中、学校での出会い、すべてが一期一会です。二度と同じ時間はやっこないのです。

そして出会いがあれば必ず別れがやってきます。卒業や転居、そして最終的には自分の死という形ですべてに別れを告げるわけです。避けることのできない人間の宿命です。それが突然やってくることもあります。だからその時その時の出会いを大切に、相手に礼を尽くすことが望まれます。3年生にとっては切実に感じられることでしょう。楽しかった開一中での生活も二度と戻ってきません。出会いと別れを大切にすることは、結局、今を大切に生きることです。今を無駄にしないように一瞬一瞬を大切に生きていきましょう。

今月の言葉

有終の美

この言葉は皆さん知っていることでしょう。有終とは、終わり方がとてもきれいであること、自分の役割などを最後までしっかりとやり遂げ、素晴らしい成果を残して終わることです。美は美しさや素晴らしさそしてたいへん立派に見えることを表します。通常、「有終の美を飾る」という言い方をします。

さて、君たち中学生にとっての有終の美とは何でしょうか。まず第一に学業です。卒業証書には君たち一人一人の名前と「中学校の全課程を修了したことを証する」と書かれています。中学生として必要な学習をすべて修了（終了）したという証明書なのです。「大丈夫だ」と胸を張れるでしょうか。

さて、もちろん学業だけではありません。何よりも人格の形成が大切です。人格は一生をかけて磨いていくものですが、中学生としてふさわしい責任感、意志の強さ、他を思いやる心などが身についたでしょうか。中学生らしい自己観照する力が身についたでしょうか。

そして「立つ鳥跡を濁さず」というように、姿格好も心もきれいにしてすがすがしい気持ちで卒業していくことが大切です。未練はあってもきれいさっぱりすがすがしい姿を見せてください。

まさに先日の合唱コンクールは3年生が素晴らしい有終の美を飾ってくれたと行っていいでしょう。たいへん立派な姿でした。立派な合唱でした。3年生のたくましい姿、美しい姿には本当に涙がでてきました。

いよいよ君たちの最後の晴れ舞台、卒業式です。君たち一人一人に心を込めて卒業証書を渡します。君たちもそれに応えて立派な姿を見せてください。期待しています。

平成28年度 保護者アンケート 結果と分析

1年生 154名 2年生 143名 3年生 85名 合計 382名(回収率69%)

No.	調査項目	肯定評価		否定評価		わからない
		そう思う	ある程度そう思う	あまりもう思わない	そう思わない	
1	学校だより、学年だより、ホームページ等を通じて、学校の様子を伝えている	68%	27%	2%	1%	2%
2	保護者会、学校公開、三者面談等を通じて、保護者との共通理解に努めている	54%	42%	2%	1%	1%
3	めあてをもった分かりやすい授業を工夫している	14%	60%	6%	1%	19%
4	運動会、文化発表会、合唱コンクール等の行事を通じて、生徒の力を引き出している	47%	46%	5%	0%	2%
5	職業調べ、職場体験、上級学校訪問を通じて、3年間を見通した進路指導を行っている	36%	49%	6%	1%	8%
6	道徳の授業を中心に命の大切さや思いやり等の道徳心を高めようと努めている	27%	49%	8%	1%	15%
7	挨拶や言葉遣い、規範意識を高める指導を行っている	28%	49%	8%	1%	12%
8	教育相談の充実を図り、いじめや不登校の未然防止に努めている	19%	46%	15%	3%	17%

A	お子様は、楽しく学校生活を送っている	53%	39%	5%	1%	2%
B	お子様は、普段の授業や定期考査に意欲をもって取り組んでいる	28%	48%	19%	4%	1%
C	お子様は、家庭学習の習慣が身に付いている	18%	39%	31%	11%	1%
D	お子様は、挨拶、言葉遣い、学校生活の約束事をしっかりと守っている	32%	55%	10%	2%	1%
E	お子様は、思いやりの心をもって人に接している	40%	53%	4%	1%	2%

本年度も保護者アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

まず何よりも、本年度は回収率が著しく向上いたしました。ここ2年間は、40%ほどであったものが、69%に上がったことはたいへんうれしいことです。重ねて御礼申し上げます。

アンケート項目について

アンケート項目の評価に関しましては、昨年を上回る肯定評価をいただきました。1、2、4に関しては、90%以上の肯定評価、その他も80%近い評価をいただきました。経年変化を見ても安定して良い数値となっています。自信をもって、よりいっそうの充実を目指して教育活動に取り組んで参りたいと思います。

そうした中で、「わからない」の評価が多かったところに着目してみると、「3 めあてをもった授業」「6 命の大切さと思いやり」「8 いじめや不登校の未然防止」が挙げられます。3に関しては、授業を見ていただいてもわかりづらいところがあるのかと思われま。本校では各教室の黒板に「めあて」というステッカーを貼っています。これは、全国学力学習状況調査の「めあてをはっきりと明示した授業の習得度が高い」という結果から励行しているものです。ぜひ次年度はその点を意識して授業を見ていただけると幸いです。6に

関しては当然のことながら道徳の授業を中心に繰り返し指導をしておりますが、8と関連してみると、指導はしてもいじめは起こり得るもの、「不登校」に関しては、一人一人様々な要因があり、またプライバシーに関連することもあり、公にお伝えすることはできないことをご了解いただきたいと思います。

お子様に関する A~E の設問については、想像以上により数値でホッとしています。学校生活が楽しいことがまず第一です。そして心優しい生徒であってほしいと願います。一番数値が悪かったのが「家庭学習の習慣」です。とにかく習慣化してほしいものです。

自由記述について

「普段の学校生活や行事の様子を HP を通して知ることができ感謝している」

ホームページについては、たいへん多くのお褒めの言葉をいただきありがとうございました。矢島副校長が赴任以来、心血を注いでやって参りましたことが報われた感じですか。すべての宿泊行事では、現地での様子を写真で送り、速報性の高いものにするのを心がけてまいりました。先日の2年生スキー移動教室でも1日目のアクセス数が1500件を越え、保護者の皆様の期待がうかがわれ、学校としてもやりがいを感じているところです。今後も、プライバシーに気を配りながら、日頃の生徒の様子を伝えられよう努力して参ります。

「朝読書、課題図書、文庫本一冊読みの授業はたいへんよい取り組みだ」

本校伝統の取り組みで、生徒も意欲的に取り組んでいます。読書離れが叫ばれて久しいわけですが、読書の効用は、「言葉を知る」「心を豊かにする」「集中力が養われる」「人生の潤いとなる」などたくさん挙げられます。今後も引き続き充実させていきたいと思っております。

「学校公開日が形骸化している、教室に入りにくく閉鎖的な感じだ」

今年度の学校公開は、飛躍的に参観者が増加しましたが、お叱りの言葉もいただきました。講演会や公開講座ばかりではなく、普段どおりの授業を見ていただきたいと思っております。確かに第2土曜日は学校公開という練馬区の指導をそのままに配慮に欠ける面もありました。クーラー、暖房をかけている時期は教室のドアが締め切りのままのクラスもあり、閉鎖的であったと思います。次年度に向けて、教員ばかりでなく生徒の意識も高めて、開放的な公開日にしたいと思います。

Q&A

Q 部活動の再登校制度は必要でしょうか。

A 全教員が関わる会議の時は管理上・安全上、部活動はできません。

Q 体育で柔道の授業は必要ないと感じます。

A 文部科学省の定める学習指導要領に武道が必修になっています。特に柔道はほとんどの高校で必修になっていることから実施しています。

Q 通知表の所見について

A 1、2学期は三者面談を実施して保護者とのコミュニケーションを最優先しています。所見は3学期末に記入します。

Q 行事より授業を最優先してほしい

A まず授業に関しては、年間を通じて必要時間数を確実に実施しています。その上で、普段の授業では得られない教育効果の為に学校行事を実施しています。

我慢の勉強をするスキー移動教室

担当 主幹教諭 崎 秀夫

事前指導では快適・便利な生活から離れ、いろいろな我慢の勉強をするのがスキー移動教室だ
という話しをしました。

まず寒さと疲れを我慢する。しかし、天候は3日間無風で快晴、あまり寒さを感じず、むしろ暑くて汗をかくほどの最高のコンディションで練習。生徒たちは適度な疲労感の中、どんどんスキーは上達し、思う存分に楽しむことができました。

お菓子を食わず空腹を我慢する。家ではお腹が空いたら好きなときにお菓子を食べる。スキー移動教室ではそうはいきません。スキー実習はものすごい運動量で当然お腹も空きます。多くの生徒が食事でおかわりをしていました。食べることは生きる源です。ご飯がこんなにも美味しいものかと感じることができたと思います。

次に携帯電話・スマホを我慢する。自由時間に友人と会話をしたり、トランプやゲームで楽しんでいました。人は顔を付き合わせて会話をするものです。友達と寝食を共にして友情を深めることができたと思います。

「ありがとうと言われるように、言うように」 我が学年の宿泊行事では必ずこのスローガンを掲げます。あいさつをする、率先して仕事をするなどの行動がとれるようになって欲しいという願いがこもっています。宿舎の方からは「あいさつがいいですね。食事の片付けが丁寧ですね。」と誉められました。ありがとうございます。とてもうれしいです。



合唱コンクールを1週間後に控えていた今回のスキー教室。2日目、3日目の夜はピアノがある2階ロビーで合唱練習をしました。気持ちも高揚している中、他のクラスの合唱に刺激を受け、大きな声でとても立派な合唱練習ができました。

2年生最後にこんなに成長できました。とても有意義なスキー教室でした。



合唱コンク - ル



3月10日の合唱コンク - ルには、多くの保護者、地域の皆様にご来場いただきました。心より感謝申し上げます。

生徒達の頑張りが随所に見られる、素晴らしいコンク - ルだったと思います。各クラスで実行委員とパ - トリ - ダ - を中心に練習を積み重ねてきた成果が、十分に発揮されていたと思います。

その中でも、特に3年生は「最後の合唱コンクール」にかける想いが歌声に乗りました。とても美しい、素敵なハーモニーを聴かせてくれました。

最優秀賞	3年5組「あなたへ」	2年4組「輝くために」	1年5組「Change！」
優秀賞	3年4組「聞こえる」	2年1組「時を越えて」	1年2組「COSMOS」
指揮者賞	3年3組 今給黎泰人君	3年5組 菅 大空君	
	2年1組 木下 航太君	1年1組 荒谷 悠さん	

表 彰

体育優良生徒	権田 雄大 君(3年4組)	姫野 愛実 さん(3年5組)
産業教育優良生徒	住永 草太 君(3年1組)	長浦 莉子 さん(3年3組)

活躍を期待します

「東京都競泳強化事業」 強化選手 廣島 偉来君(2年)

「東京都ジュニア 第二次陸上競技強化合宿」参加選手 小林 直樹君(2年)
鈴木 健也君(2年)

この1年間、保護者や地域の皆様には様々な場面でたくさんのご支援をいただき、感謝申し上げます。

平成29年度も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。